

将来を見据え仕事を体験

14日(木)、日課程の生徒3名が、佐世保市にある就労継続支援B型事業所に社会体験学習に出かけた。実際の現場で仕事をするこの面白さや難しさを知ることに、挨拶や返事などの基本的なコミュニケーション力を高めることがねらいだ。生徒は、椎茸を小さく裂いて干す仕事、おからを成型して、クッキー生地を作る仕事などを体験。手先を使う細かな作業にも集中して取り組むことができていた。

生のしいたけを小さくさきました。手先を使うので、肩がこりました～。



こんなに大きなしいたけも、あっという間にさくことができました。



トレーを落とさないようにもって、テラスまで運びました。



テラスで乾燥させます。最後はふりかけになるそうです。



写真上：おからクッキーの生地も成型しました。指先の力加減を調整することが難しかった！写真左：働いたあとのランチは最高。



歌声よ響け！

第60回九州音楽教育研究大会長崎大会が、今月22日(金)に迫っている。当日は、アルカス佐世保で佐世保市内の幼小中高特別支援学校の児童生徒が一同に介し、参加者の方々に「西海讃歌」を披露する。同曲は、テレビ長崎において22時台の天気予報のBGMとしても使われており、子どもたちも聞いたことがある曲だ。本番まであと少し。ガンバ

会場の迫力に負けないようにがんばります！

キーが高いけれどがんばります！

